

【A年】

聖霊降臨後第十二主日

特定十六

主よ、教会はただ主の助けによつてのみ健全に立つことができます。どうか絶えることのない助けをもつて主の教会を清め守り、恵みと力によつていつまでも堅く保ってください。主イエス・キリストによつてお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はイザヤ書第五一章一節から」

1 わたしに聞け、正しさを求める人

主を尋ね求める人よ。あなたたちが切り出されてきた元

の岩掘り出された岩穴に目を注げ。

2 あなたたちの父アブラハム

あなたたちを産んだ母サラに目を注げ。

わたしはひとりであつた彼を呼び

彼を祝福して子孫を増やした。

3 主はシオンを慰め

そのすべての廃虚を慰め

荒れ野をエデンの園とし

荒れ地を主の園とされる。そこには喜びと楽しみ、感謝

の歌声が響く。

4 わたしの民よ、心してわたしに聞け。わたしの国よ、わ

たしに耳を向けよ。教えはわたしのもとから出る。わた

しは瞬く間に

わたしの裁きをすべての人の光として輝かす。

5 わたしの正義は近く、わたしの救いは現れ

わたしの腕は諸国の民を裁く。島々はわたしに望みをおき

わたしの腕を待ち望む。

6 天に向かつて目を上げ

下に広がる地を見渡せ。天が煙のように消え、地が衣

のように朽ち

地に住む者もまた、ぶよのように死に果てても

わたしの救いはとこしえに続き

わたしの恵みの業が絶えることはない。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱えます。

第一三八編

- 1 神よ、わたしたちは心を尽くしてあなたに感謝し＝ もろの神の前であなたをたたえる
- 2 あなたの尊い宮に向かってひれ伏し、慈しみとまことのゆえにみ名に向かって感謝を献げる＝ あなたは約束を果たし、み名をすべてにまさるものとされた
- 3 わたしが叫びを上げたとき、あなたは答え＝ わたしの魂の中に力を増してください
- 4 主よ、国々の王はあなたに感謝を献げる＝ あなたの言葉聞いたから
- 5 彼らは主のみ業を喜び歌う＝ 「主の栄光は偉大」と
- 6 いと高き主は、へりくだる人に心を留め＝ 高ぶる者は近づかない
- 7 苦しみにの中にあるときも、あなたはわたしの命を支えられる＝ み手を伸ばして敵の怒りを退け、右のみ手でわたしを救われる
- 8 主は、わたしに約束されたことを、すべて成し遂げられ

る＝ 主よ、あなたの慈しみは永遠、み手の業を見捨てないでください

使徒書

朗読者 「使徒書はローマの信徒への手紙第十一章三三節

から」

- 33 ああ、神の富と知恵と知識のなんと深いことか。だが、神の定めを究め尽くし、神の道を理解し尽くせよう。
- 34 「いったいだれが主の心を知っていたであろうか。だれが主の相談相手であっただろうか。
- 35 だれがまず主に与えて、その報いを受けるであろうか。」
- 36 すべてのものは、神から出て、神によって保たれ、神に向かっていてるのです。栄光が神に永遠にありますように、アーメン。

朗読者 「使徒書を終わります」

一同立つ。

(二)で聖歌を歌う。

## 福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マタイによる福音書第十六章十三節以下に記された主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

ないように、と弟子たちに命じられた。

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」

13 イエスは、フィリポ・カイサリア地方に行つたとき、弟子たちに、「人々は、人の子のことを何者だと言っているか」とお尋ねになつた。14 弟子たちは言つた。「洗礼者ヨハネだ」と言う人も、『エリヤだ』と言う人もいます。ほかに、『エレミヤだ』とか、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」15 イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」16 シモン・ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた。17 すると、イエスはお答えになつた。「シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ。あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ。18 わたしも言つておく。あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない。19 わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上でつなぐことは、天上でもつなされる。あなたが地上で解くことは、天上でも解かれる。」20 それから、イエスは、御自分がメシアであることをだれにも話さ